

夕張市財政再建計画の変更 (平成21年12月)の概要

- 本年9月25日に夕張市の財政再建計画の変更に同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、再建計画に計上した平成21年度分の歳入・歳出額を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保や歳出の抑制により対応することとしており、再建計画の主要部分である財政再建期間、財政再建の基本方針及び財政再建に必要な具体的措置については変更はない。
- 再建計画の変更への同意は、今回で7回目となる。

1 歳入・歳出の見直し

(1) 歳入

国・道支出金により13百万円の増

(2) 歳出

物件費(+7百万円)、扶助費(+6百万円)などにより、13百万円の増

2 主な変更事項

(1) 新型インフルエンザワクチン接種費用負担軽減事業(11百万円)

新型インフルエンザワクチン接種費用について、生活保護世帯又は市民税非課税世帯に属する者の実費負担の免除を行う事業を実施。

(財源) 道支出金8百万円、一般財源3百万円

(2) 全国瞬時警報システム整備事業(3百万円)

国の21年度第1次補正により措置された防災情報通信設備整備事業交付金を活用し、市が緊急地震速報等の緊急情報を受信するため、受信アンテナや受信機等の整備に要する事業を実施。

(財源) 道支出金3百万円

※ 変更については、国・道支出金を活用するほか、前年度繰上充用金の減(▲3百万円)などにより対応するため、再建計画における赤字解消額の変更はない。